

令和5年9月14日

# 文教警察委員会資料

(ページ)

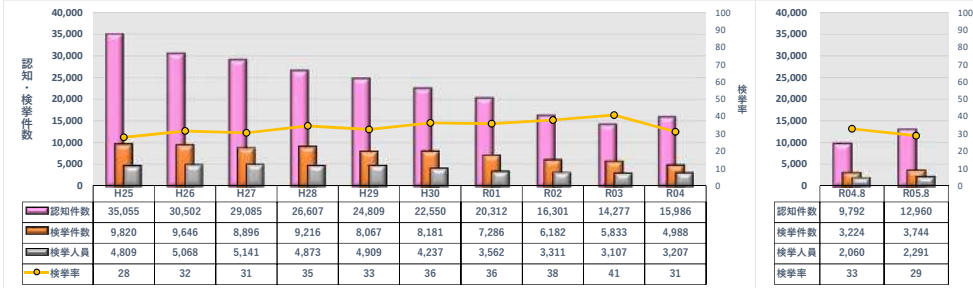
- 茨城県の治安概況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 茨城県警察の重点施策・推進状況・・・・・・・・・・・・ 2
- 術科訓練の充実強化について・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 犯罪の起きにくい社会づくりの推進・・・・・・・・・・・・ 4
- 地域に密着した交番・駐在所の活動について・・・・・・ 5
- 自動車盗の現状と対策・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 夕暮れ時と夜間における交通事故防止・・・・・・・・・・ 7
- 大規模災害対策 / 大規模行事の開催に向けた警備諸対策・・・・ 8

茨城県警察本部

# 茨城県の治安概況

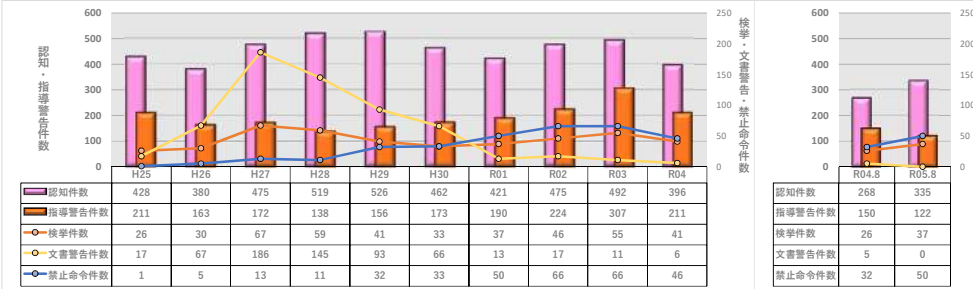
※資料中で使用している数値には速報値も含まれます。

## 1 刑法犯の認知・検挙状況

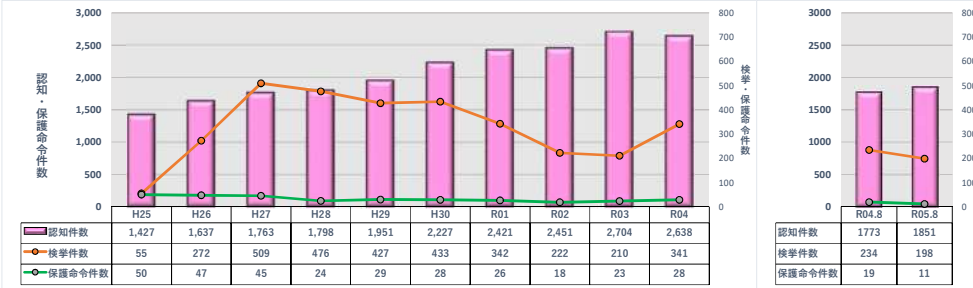


## 2 人身安全関連事案の認知・検挙等の状況

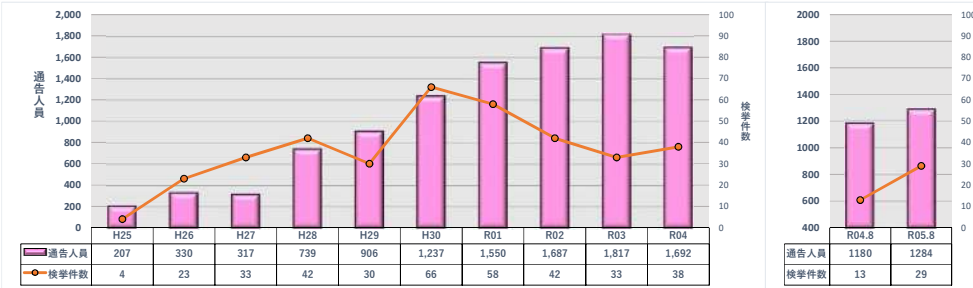
### (1) ストーカー事案の認知・検挙・警告状況



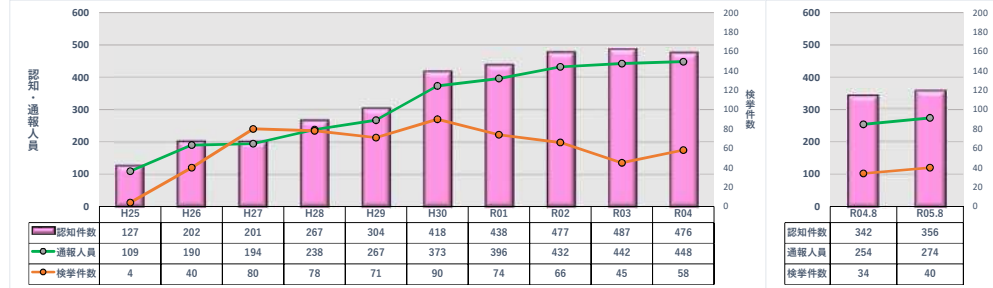
### (2) DV事案の認知・検挙・保護命令状況



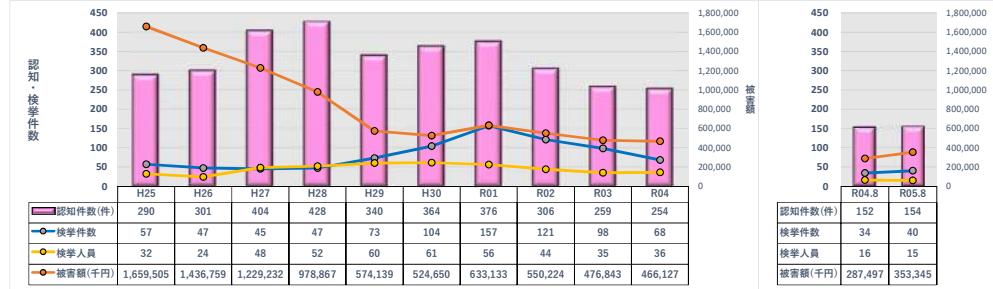
### (3) 児童虐待事案の通告・検挙状況



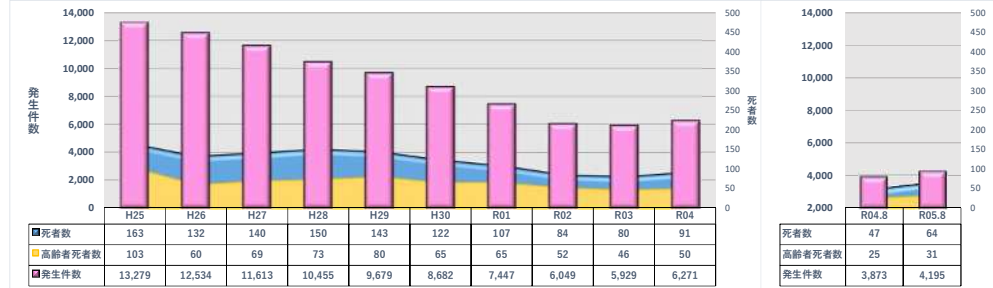
## (4) 高齢者虐待事案の認知・検挙・通報状況



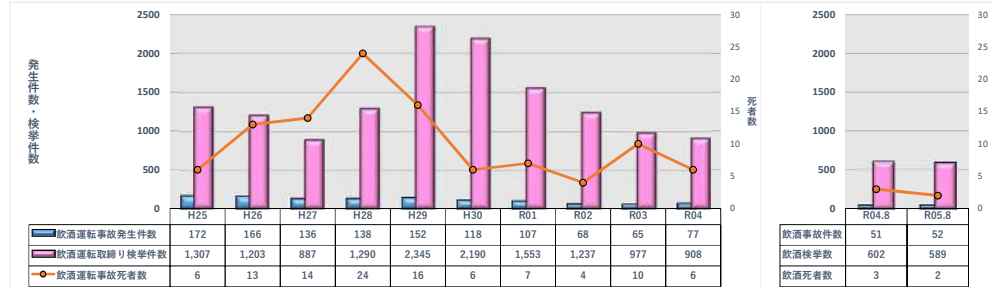
## 3 ニセ電話詐欺の認知・検挙・被害額状況



## 4 交通事故の発生状況



## 5 飲酒運転の取締り・飲酒運転による事故の発生状況



茨城県警察の重点施策・推進状況

巡回連絡を活用した高齢者総合安全対策の推進

～巡回連絡による一対一での面接活動で県民との信頼関係を構築～

【事件・事故、災害の具体的被害状況の教示】

- 自分は騙されないと考えている人が電話に出て二セ電話詐欺グループに騙されている
- 令和4年中の住宅対象侵入窃盗のうち、無施錠被害が約4割
- 令和4年中の夜間における歩行中死者数23人中、反射材着用者は0人
- 大雨等の災害では、自分は被害に遭わないというバイアスにより逃げ遅れる可能性がある

【事件・事故、災害に対する具体的対策の働き掛け】



⇒ 本年9月12日現在 高齢者世帯53万世帯中 約6万世帯(約11.4%)の巡回連絡を実施

1 茨城県警察防犯アプリ「いばらきポリス」の利用促進

- ダウンロード数**  
本年5月末現在 約28,000件 → 9月12日現在 約64,000件(約2.3倍)
- 利用促進に向けた取組**
  - ・ 巡回連絡時における即時利用の働き掛け
  - ・ 県、市町村を介した県民への周知
  - ・ 学校を介した学生・生徒、保護者への働き掛け
  - ・ 企業・団体等と協働した周知
  - ・ 防犯キャンペーン等における即時利用の働き掛け



2 二セ電話詐欺被害防止対策

- 被害特徴と留守番電話機能の設定**
  - ・ オレオレ詐欺では37件中36件(約97%)が固定電話への架電が端緒
  - ・ 本年6月から開始した警察官の巡回連絡等により、本年9月12日現在、高齢者世帯約39,000世帯の固定電話を留守番電話に設定

- 取組の成果(オレオレ詐欺)**
  - (全国)
    - 認知件数、被害額とも前年同期比で増加
    - 本年7月末現在 2411件(+393件) 約69億9,100万円(+約8億8,700万円)
  - (当県)
    - 本年5月末時点、認知件数24件(前年同期比+5件) 被害額約1億4,500万円(前年同期比+約1億200万円)
    - 取組み開始以降となる本年8月末現在 認知件数37件(前年同期比-8件) 被害額約1億9,600万円(前年同期比+約3,500万円)

3 住宅侵入窃盗防止対策

- 住宅侵入窃盗の特徴**
  - ・ 令和5年8月末の認知件数831件(前年同期比+220件)
  - ・ うち、363件(44%)が「無施錠」、410件(49%)が「ガラス破り」での被害
  - ・ 犯罪率(人口あたりの認知件数)全国ワースト

	R5							
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
認知件数	92	81	116	111	117	134	79	100

※6月をピークとして認知件数に減少の兆しがみられる

4 歩行者事故防止対策

- 死亡事故の特徴**
  - ・ 昨年中の死亡事故全体では「前方不注意」が約30%を占め、全国平均の約1.2倍
  - ・ 平成30年以降、歩行者死亡事故の最大原因は「前方不注意」で、夜間54%、昼間25%を占める
- 反射材の貼付活動**
  - ・ 本年9月12日現在、高齢者85万人中、約52,000人に反射材貼付
- 横断歩行者妨害の取締りの徹底**
  - ・ 本年8月末現在、2,537件を検挙(過去10年間平均の約3.7倍)
  - ・ R5年中における信号機のない横断歩道上における交通事故は対策実施前の平均の半数以下に減少
- 止まりやすい横断歩道対策**
  - ・ 道路管理者と連携し坂道の横断歩道対策を実施
  - ・ 減速を促す強調道路表示、横断歩道のカラー表示
- 飲酒運転の取締りの徹底等**
  - ・ 本年8月末現在、589件検挙(昨年同期とほぼ同数)
  - ・ 県内全運転代行業者(332社)に「目的地までの確実な搬送」チラシを配布



5 県民の適正な避難等・防災意識向上対策

- 災害時の避難をめぐる特徴**
  - ・ 「これまで被害に遭っていない」「近隣住民も避難していない」等の意識
  - ・ 「自分は被害に遭わないだろう」という考え方を「早期避難」に改めてもらう ～県民の意識改革が課題
- 自主防災組織・防災リーダーとの連携**
  - ・ 各地域の組織やリーダーに「避難訓練」を働き掛け
  - ・ 本年8月末現在、90回・1,005団体に訓練の働き掛けを実施
- 近隣住民同士が連携した早期避難**
  - ・ 防災意識向上を目的とした防災講話の実施
  - ・ 本年8月末現在、421回・23,028人に防災講話を実施
- 災害等緊急事態に備えた指導・支援の強化**
  - ・ 警察署への指導、支援を強化 ～豪雨災害を想定した舟艇による救出救助訓練等
  - ・ 本年8月末現在、24回の舟艇訓練を実施

## 術科訓練の充実強化について

### 1 持凶器犯人を制圧・逮捕した事例

- (1) 令和2年12月（笠間市）  
110番通報の現場において、男が包丁を突き出してきたため、男に向けて発砲
- (2) 令和3年11月（水戸市）  
110番通報の現場において、男がナイフを振り回して向かってきたため、威嚇射撃
- (3) 令和5年8月（筑西市）  
職務質問の際に、男がナイフを示して抵抗したため、男に拳銃を向けて警告

### 2 警察術科の推進状況

- (1) 警察術科  
柔道・剣道、逮捕術、拳銃
- (2) 術科訓練
  - ア 警察学校における採用後の基礎訓練
  - イ 警察署等における通常訓練
  - ウ 資質を有する職員に対する特別訓練

警察学校での訓練



警察署での訓練



女性警察官の訓練



- (3) 警察術科大会  
各術科ごとに年1回開催



### 3 総合対処法訓練の強化

- (1) 総合対処法訓練の概要
  - ア 具体的想定に基づいた実践的訓練方法
  - イ 複数人で連携しながら、柔道・剣道、逮捕術、拳銃の技能を複合的に活用し、受傷することなく犯人を制圧
  - ウ 凶悪犯罪から県民を守るため、訓練を通して効果的な対処方法を追求



反射力を養う相対訓練



警棒と拳銃を使って被疑者と対峙



刃物を持った被疑者に連携して対処



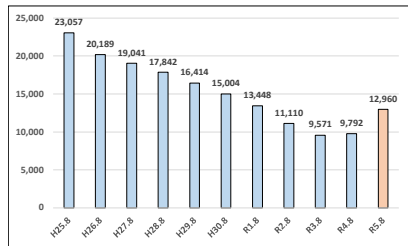
逮捕術で被疑者を制圧・逮捕



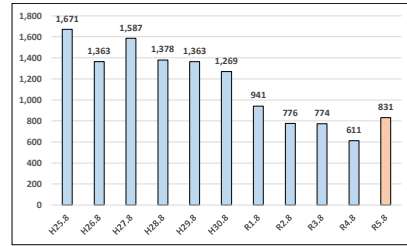
## 犯罪の起きにくい社会づくりの推進

### 1 犯罪情勢

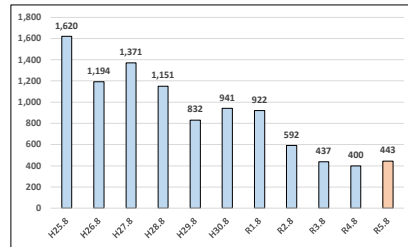
(1) 刑法犯認知件数



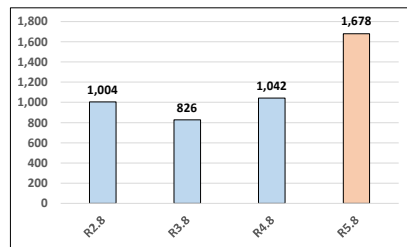
(2) 住宅侵入窃盗



(3) 自動車盗



(4) 金属盗



### 2 自治体対象の街頭防犯カメラ設置費補助事業

補助事業実績

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
補助市町村数	32	39	<b>35</b>
補助台数	120	120	<b>120</b>

※ 令和5年度については、見込みの実績となります。

設置前の現地調査（本年8月）



### 3 多様な担い手による自主防犯活動の推進

理髪店における防犯アプリ普及活動



通学路における子供見守り活動



ながら見守り活動促進ポスター



### 4 全国地域安全運動の実施

- 期間：令和5年10月11日（水）～10月20日（金）
- 主催：茨城県安全なまちづくり推進会議
- 重点
  - ・ 子供と女性の犯罪被害防止
  - ・ 二重電話詐欺の被害防止
  - ・ 住宅侵入窃盗の被害防止
  - ・ 自動車盗の被害防止

第45回地域安全茨城県民大会  
 10月11日（水）13:30～  
 ザ・ヒロサワ・シティ会館



## 地域に密着した交番・駐在所の活動について

### 1 初動警察活動の推進

- 交番・駐在所を拠点として地域の実態を把握し、実態に即した活動を実施
- 常に警戒体制を保持し、管内の様々な事件・事故に直ちに対応

#### 県民の安全と平穏の確保

### 2 地域住民に寄り添った活動の推進

#### (1) 巡回連絡

ア 巡回連絡とは

地域警察官が、担当する地域の家庭等を訪問し、犯罪、事故等の必要な指導・連絡や地域住民からの意見・要望を聴取

イ 巡回連絡を活用した高齢者総合安全対策の推進  
高齢者宅の巡回連絡を実施し、

- 二セ電話詐欺被害防止のための留守番電話機能の設定
- 住宅侵入窃盗防止のための常時施錠の徹底
- 夜間の歩行者事故防止のための反射材の貼付
- 災害被害防止のための早期避難の意識付け
- いばらきポリスの登録拡大等を推進



【留守番電話機能の設定】



【窓ガラスの確実な施錠】

#### ○ 住民の反響

- 高齢者向けの対策として直接訪問は素晴らしい。意味のある施策である。特に世間と交流が少ない独居老人宅への訪問は効果が期待できる。
- 警察官が住民の靴に直接、貼付する活動は有効だと思う。反射材のおかげで、車を運転している際など、歩行者がいると認識することができるので、実施を推進してほしい。

#### ○ 対策を推進中の地域警察官の声

- 巡回連絡に行くと「お疲れ様」等と感謝されるので、やり甲斐を感じる。
- 「久しぶりに来てくれたね」等と言われるとうれしく感じる。
- 専門用語ではなく、相手に伝わりやすい言葉を選び、相手方に寄り添う形で巡回連絡を行っている。
- 60代と90代では、身体状況、理解力等が異なるため、若手警察官には相手に応じて強弱をつけてアドバイス、説明するよう、実践的に指導する必要があると感じる。

### (2) 交番・駐在所連絡協議会

交番・駐在所と地域住民による連絡協議会を設置し、地域の治安に関する問題等を協議したり、住民からの警察への意見・要望を把握



【交番連絡協議会】

#### 住民や関係機関・団体と連携した事件・事故の防止、地域の問題解決

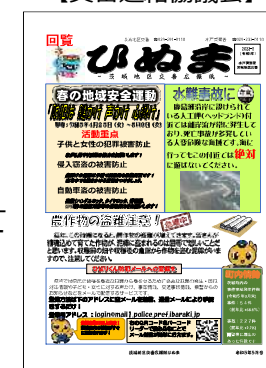
### (3) 情報発信活動

ア ミニ広報紙

管内の犯罪情勢や防犯情報を掲載し、定期的に発行

イ 交番・駐在所速報

直ちに注意喚起すべき事件や事故について掲載し、随時発行



【ミニ広報紙】

#### 地域住民に必要な地域安全情報を提供

### 3 地域住民の安心感を醸成するための活動の推進

#### パトロール等による街頭活動の強化

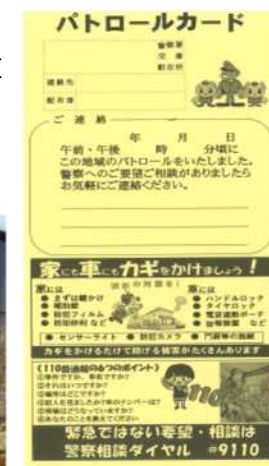
- 積極的に警察官の制服姿やパトカーの姿を県民に「見せる」パトロール活動
- パトロールカードを効果的に活用した「知らせる」パトロール活動



【横断歩道における立哨】



【住宅街の警戒】

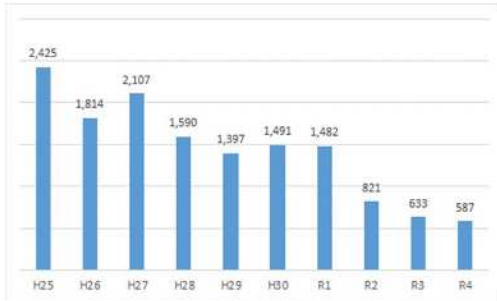


【パトロールカード】

## 自動車盗の現状と対策

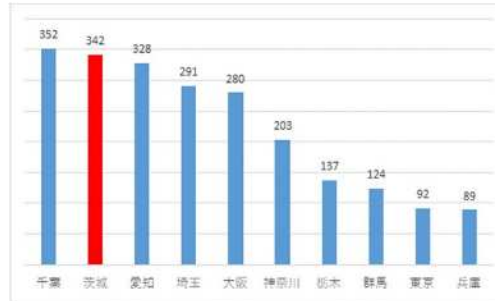
## 1 認知件数の推移

【平成25年～令和4年】



- 平成25年から減少傾向

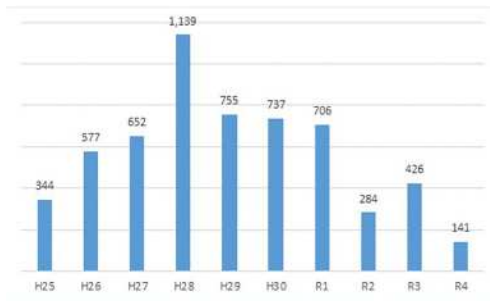
【全国ワースト10（令和5年8月末）】



- 令和5年8月末 ワースト・位

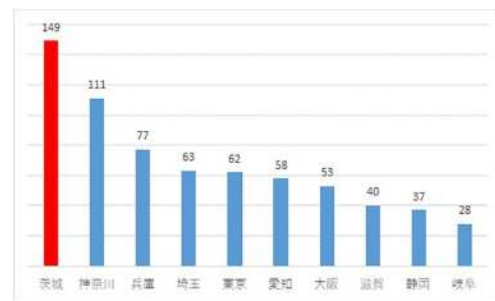
## 2 検挙件数の推移

【平成25年～令和4年】



- 平成28年をピークに減少傾向

【全国ベスト10（令和5年8月末）】



- 令和5年8月末 全国1位

## 3 戦略的な情報発信

## (1) 「いばらきボリス」を活用した情報発信

- ・ パー式ハンドルロックやタイヤロックなどの防犯対策の配信
- ・ ひばりくん防犯メールで発生状況をタイムリーに配信

## (2) ディフェンス力向上のための警察広報

- ・ 発生状況や効果的な防犯対策の周知を目的とした警察広報
- ・ ヤード情報や不審車両の情報などの情報提供を目的とした警察広報

## 4 組織化・広域化する犯行への対策

## (1) 犯行の態様

- ・ 薬物常習者や暴力団関係者、不良外国人等が「実行役」「搬送役」「解体や輸出等の処分役」など任務分担して一連の流れを組織的にしている。
- ・ ヤードとなり得る場所が多く、距離的に横浜港などが近い本県は解体現場に選ばれる傾向が強い。

## (2) 各種対策

- ・ 違法ヤードに対するヤード条例に基づく徹底した取締
- ・ 現場における鑑識活動、防犯カメラ画像・映像の収集、各種捜査支援システムを活用した事件分析
- ・ 戦略的な合共同捜査の推進による窃盗組織の全容解明と検挙

## (3) ヤードの種類

## 通常ヤード



## 倉庫型ヤード



## その他のヤード

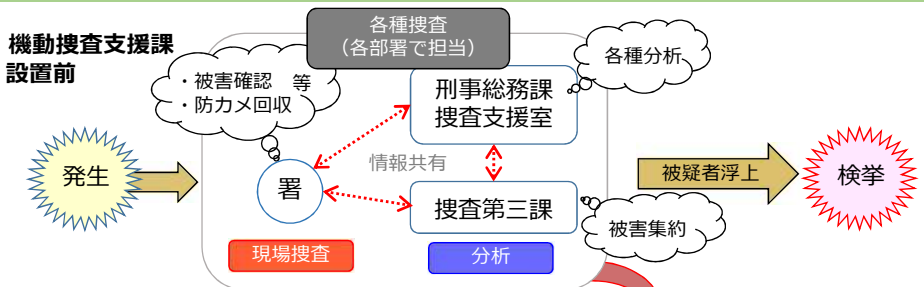


## (4) 主な検挙事例

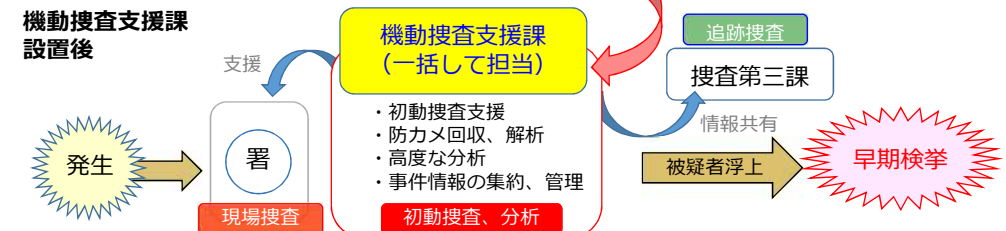
- 県内合同捜査（古河署拠点5所属 自動車盗75件 被害総額1億3,653万円相当）
- 県間合同捜査（大阪府警他2県警 自動車盗72件 被害総額4億2,984万円相当）

## 5 スピード感あふれる各種捜査の展開（機動捜査支援課の設置）

## (1) 機動捜査支援課設置前



## (2) 機動捜査支援課設置後

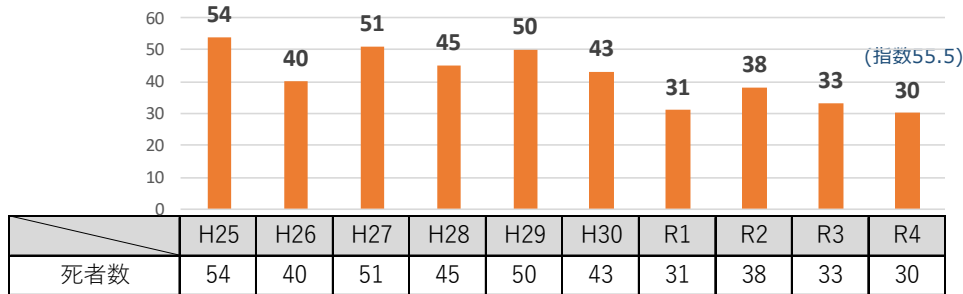


機動力+分析力の強化 → スピード感あふれる捜査

## 夕暮れ時と夜間における交通事故防止

### 1 交通事故発生状況

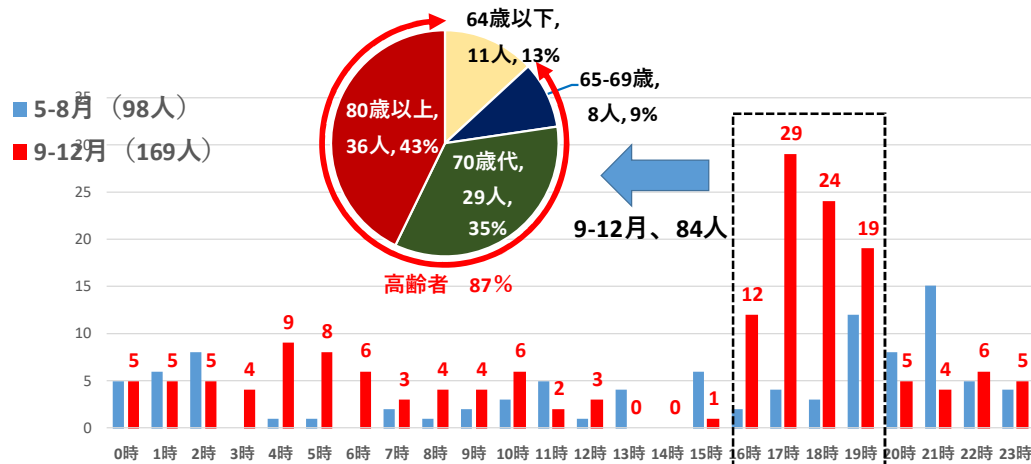
#### (1) 自動車対歩行者事故の死者数の推移



※ 指数は、平成25年を100とした場合の令和4年の値である。

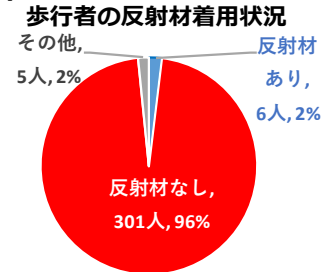
- ・ 死者数については減少傾向

#### (2) 歩行者事故の時間帯別発生状況（H25-R4の死亡事故累計、期間別比較）



- ・ 9月から12月における16時から19時までの死者数84人(49.7%)と割合が高い
- ・ 9月から12月における16時から19時までの死者84人のうち、73人(87%)が高齢者

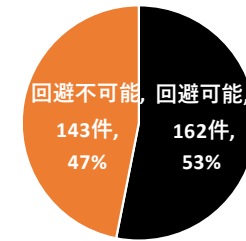
#### (3) 夜間における事故の特徴（H25-R4の死者累計）



※「その他」は、ライト携行4人、調査不能1人

- ・ 死者301人(96%)が反射材非着用

#### 夜間の前照灯上向き効果



- ・ 前照灯が上向きであったら回避可能と考えられる事故が162件(53%)

### 2 対策

#### (1) 反射材の直接貼付活動

- ア 巡回連絡を活用した直接貼付活動の推進
- イ 夕暮れ時と夜間における直接貼付活動の推進

#### (2) 反射材の効果や使用方法等の周知と交通安全教育

- ア 各種広報媒体を活用した周知
- イ 参加・体験・実践型の交通安全教育の推進

#### (3) 反射材着用の広報啓発活動

- ア 夕暮れ時や夜間における反射材着用促進キャンペーンの実施
- イ 関係機関・団体と連携した広報啓発活動の推進

#### (4) 前照灯の早め点灯や上向き点灯に関する広報啓発活動

- ア あらゆる広報媒体を活用した運転者への呼び掛けの実施



反射材用品の直接貼付活動



反射材用品の効果や使用方法等の周知と交通安全教育



反射材用品の広報啓発活動



前照灯の早め点灯や上向き点灯に関する広報啓発活動（県警公式Youtube動画）



## 茨城県警の重点施策・推進状況

### 1 大規模災害対策

#### (1) 災害をめぐる情勢

- 懸念される主な大規模災害

災害種別	内容
茨城県南部地震	県南・県西を中心に揺れや火災による被害
県北部の活断層による地震	県北の沿岸部で揺れによる被害
茨城県沖から房総半島沖の地震	県央から鹿行、県南にかけて液状化や揺れによる被害、沿岸部全域への津波による被害
局地的な豪雨による土砂災害	県内の土砂災害警戒区域や土砂災害特別警戒区域における被害

#### (2) 平素からの備え

- 各種教養・訓練を通じた職員の災害対処能力の向上
- 自主防災組織等に対する防災講話や避難訓練の働き掛け
- 高齢者宅を中心とした巡回連絡における啓発指導
- 広報啓発動画の作成とSNS等を活用した拡散



土砂災害現場における搜索活動



「大雨の時は早めの避難を」と題した啓発動画を県警察公式YouTube等で配信開始



閲覧用QRコード

### 2 大規模行事の開催に向けた警備諸対策

#### (1) 実地踏査及び情報の収集・分析

- 総合警備対策室を中心とした各種警備対策の推進

#### (2) 警衛・警護の徹底

- 警護対象者等との連携
- 銃器攻撃への対処等を含めた実践的かつ高度な訓練

#### (3) 警戒警備の強化

- テロ関連情報を幅広く収集・分析
- 大規模集客施設や公共交通機関等に対する警戒警備を強化

#### (4) 関係機関・団体との連携

- テロ対策茨城パートナーシップ推進会議臨時総会等の実施
- 海上保安庁や税関等との密入国者によるテロを想定した合同訓練
- 爆発物の原料となり得る化学物質を取り扱う事業者に対するロールプレイング訓練
- 重要インフラ事業者等に対するサイバー攻撃を想定した図上演習
- 茨城県サイバーテロ対策協議会総会の開催

#### (5) 総合的な交通対策の推進

- 一般交通への影響に配慮した的確な交通対策



銃撃事件を想定した訓練



密入国者によるテロを想定した合同訓練